

「東京都生命表(平成17年)」の主な内容

東京都生命表(平成17年)を作成しましたので、お知らせします。

平成17年国勢調査および人口動態統計を基に、「x歳の人は、統計学的にみてあと何年くらい生きられそうか」等を男女別に計算したものです。

都の平均寿命 平成17年は男性が79.0年、女性が85.5年
-- 平成12年に比べ、男女とも1.0年の伸び --

1 東京都の平均寿命 [全国水準と比べ、男性は上回る。女性はほぼ同じ。]

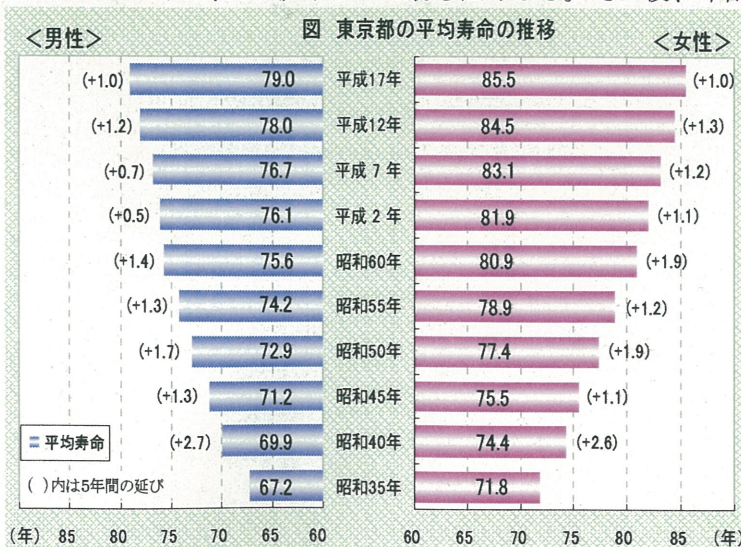
- 1) 平成17年の平均寿命は、男性が79.0年、女性が85.5年であった。平成12年に比べ、男女とも1.0年の伸びとなった。
- 2) 全国水準と比べると、男性は都が0.4年上回った。女性はほぼ同じであった。
- 3) 地域別にみると、区部は男性が78.7年、女性が85.4年であった。一方、多摩・島しょは、男性が79.8年、女性が85.7年であった。
(P₄表1-1、P₅図1-3)

2 東京都の平均余命と生存状況 [寿命中位数は、平均寿命を上回る。]

- 1) 20歳の人の平均余命は、男性が59.5年、女性が65.9年であった。
- 2) 65歳については、男性が18.5年、女性が23.2年であった。なお、出生してから65歳まで生存すると期待される確率は、男性が85.8%、女性が93.0%となっている。
- 3) 寿命中位数(上記の期待確率が50.0%になる)は、男性が82.1歳、女性が88.4歳であり、平均寿命より3年ほど上回っている。この傾向は、昭和35年から一貫して見られる。
(P₆表1-2、P₈表1-3)

3 東京都の生存数と死亡率 [年齢別生存数は、全年齢とも5年前より増加。]

- 1) 生存数は、男女ともいずれの年齢も平成12年より増加した。なお、男女を比べると、いずれの年齢も女性が男性を上回っている。
- 2) 死亡率は、10歳くらいで最も低くなる。その後、年齢が高まるにつれて上昇していく。



(P₁₀図2-1、P₁₁図2-2)

問い合わせ先

総務局統計部調整課

人口予測担当